

山口県の港湾・海岸の概況

山口県は本州の最西端に位置し、三方が海に開かれ、その海岸線の延長は1,500kmに及び、古くから海のつながりが深く、長い海岸線沿いに多くの港湾が発達してきました。

瀬戸内海側と日本海側とは、それぞれの特徴を示しており、瀬戸内海沿岸は、気候が温暖で、静穏な海象条件をもっており、地理的自然条件をそなえた多くの良港に恵まれています。これらの港を中心に早くから地場産業が栄え、次第に重化学工業などを中心とするいわゆる素材型産業の立地が行われ、多くの中小港湾都市が発展していききました。

瀬戸内海臨海部の活発な企業活動とともに、さまざまな内外貿易物の取扱いが盛んになり、港勢が急速に進展し、港湾施設の整備拡充が図られています。

これに対して、日本海沿海は北長門海岸国定公園に指定されるなど、美しい海と変化に富んだ海岸線に恵まれており、漁業基地や地場産業を中心とした利用がなされています。



山口県の港湾

港 格	港数	港 湾 名
国際拠点港湾	2	徳山下松港・□下関港
重要港湾	4	岩国港・三田尻中関港・宇部港・小野田港
地方港湾	23	由宇港・大島港・小松港・久賀港・安下庄港・伊保田港・白木港・沖浦港・柳井港・室津港・平生港・山口港・丸尾港・厚狭港・特牛港・角島港・油谷港（避難港）・萩港・□柱島港・□青江港・□秋穂港・□山口東港・□櫃島港

(注) □印は市町管理港湾